

鳥取県立公文書館報

第22号
(平成24年度)

鳥取県立公文書館

目 次

公文書館の概要

| | | |
|---|-------------------------|---|
| 1 | 設置の目的 | 1 |
| 2 | 機能 | 1 |
| 3 | 組織 | 1 |
| 4 | 予算 | 1 |
| 5 | 平成24年度事業計画 | 2 |
| | 〔公文書担当〕 | 2 |
| | (1) 鳥取県文書等の管理に関する条例への対応 | |
| | (2) 整理・保存 | |
| | (3) 利用促進、普及・啓発 | |
| | 〔県史編さん室〕 | 3 |
| | (1) 新鳥取県史編さん委員会等の運営 | |
| | (2) 調査研究 | |
| | (3) 県史ブックレット・調査報告書の刊行 | |
| | (4) 普及事業 | |

平成23年度事業概要

〔公文書担当〕

| | | |
|---|--------------------------|---|
| 1 | 公文書等の所蔵・収集状況 | 4 |
| | (1) 公文書 | |
| | (2) マイクロフィルム | |
| | (3) 刊行物（行政資料に書籍を含む。） | |
| | (4) 古文書等 | |
| | (5) 欠落公文書等の補充 | |
| 2 | 保存・管理 | 6 |
| | (1) 簿冊（公文書綴）のマイクロフィルム撮影 | |
| | (2) 複製本の作成 | |
| | (3) 中性紙保存箱への装てん | |
| | (4) 書庫の整理 | |
| 3 | 利用状況 | 6 |
| | (1) 閲覧等の利用状況（一般） | |
| | (2) 県職員の利用 | |
| 4 | 普及・啓発 | 7 |
| | (1) 常設展 | |
| | (2) 企画展 | |
| | (3) こちら「夏休み自由研究」協力隊 | |
| | (4) 『鳥取県立公文書館研究紀要』第7号の刊行 | |
| 5 | 市町村公文書の保存支援 | 8 |
| 6 | 公文書等資料保存研究会の開催 | 9 |
| 7 | 展示会開催実績 | 9 |

〔県史編さん室〕

| | | |
|---|-------------------|----|
| 1 | 新鳥取県史編さん委員会等の運営 | 12 |
| | (1) 委員名簿 | |
| | (2) 会議 | |
| 2 | 各専門部会の活動 | 13 |
| | 1 考古部会 | |
| | 2 古代中世部会 | |
| | 3 近世部会 | |
| | 4 近代部会 | |
| | 5 現代部会 | |
| | 6 民俗部会 | |
| 3 | 刊行物 | 15 |
| | (1) 県史ブックレット | |
| | (2) 資料編 | |
| | (3) その他 | |
| 4 | 普及事業 | 15 |
| | (1) 県史ブックレット 巡回講座 | |
| | (2) 出前講座・依頼講演 | |
| | (3) 県史だよりの発行 | |
| | (4) ホームページの更新 | |
| 5 | 県史編さん協力員 | 17 |
| | (1) 古文書解読 | |
| | (2) 民具調査 | |

公文書館の概要

1 設置の目的

公文書館は、歴史資料として重要な県の公文書、その他の記録などを保存し、また、その調査・研究を行い、さらにこれらの歴史資料を広く県民の利用に供するとともに、県政に関する情報を提供し、文化の向上と開かれた県政を推進することを目的としている。

2 機能

(1) 公文書の収集・整理・保存

鳥取県公文書等の管理に関する条例に基づき、歴史公文書等を引き継ぎ、特定歴史公文書等として整理・保存している。

(2) 公文書・行政資料などの利用

公文書は所定の手続により閲覧できる。また、行政資料・統計資料は開架方式で閲覧室に配架されており、自由に閲覧できる。

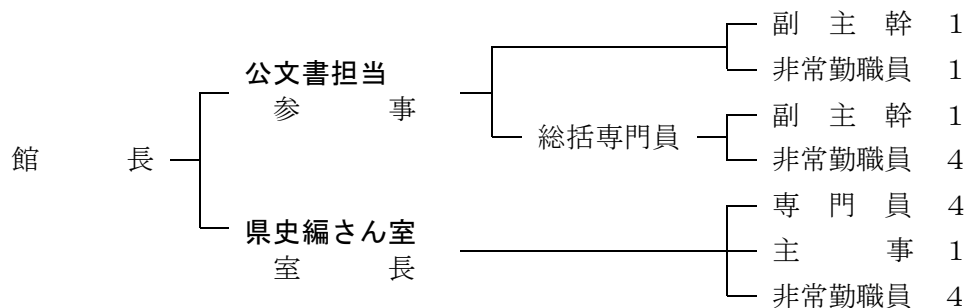
(3) 統計相談

国及び都道府県の作成した各種の統計書を収集・配架し、閲覧に供するとともに、統計相談の窓口として一般からの相談に対応している。

(4) 県史編さん

新鳥取県史編さんに係る調査研究及び資料集の刊行などを行っている。

3 組織（平成24年4月1日現在）



4 予算

| 事業名 | 平成24年度 当初予算額 | 平成23年度 当初予算額 | 平成22年度 当初予算額 |
|---------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 公文書館体制整備検討事業 | — | — | 1,299 |
| 新鳥取県史編さん事業 | 31,081 | 38,247 | 34,219 |
| 親しまれる公文書館推進事業 | 1,705 | 1,405 | 2,078 |
| 歴史資料保存事業 | 4,923 | 6,492 | 6,483 |
| 公文書収集利用促進費 | 8,104 | 7,973 | 8,603 |
| 公文書館運営費 | 13,460 | 12,014 | 12,154 |
| 合計 | 59,273 | 66,131 | 64,836 |

5 平成24年度事業計画

〔公文書担当〕

(1) 鳥取県公文書等の管理に関する条例への対応

- ア 実施機関が作成した歴史公文書等について、保存年限満了後すみやかに当館へ引き継ぐ。
- イ 引き継がれた簿冊について、可能な限り早期に利用制限情報に関する審査を行う。
- ウ 所蔵簿冊の点検を行い簿冊目録の整備を図る。
- エ 電子文書の引継・公開方法を検討・確立するとともに所蔵する公文書等や電子文書に対応した管理・検索システムを整備する。
- オ 書庫の狭あい化に備えて、書庫スペースの確保について検討を進める。

(2) 整理・保存

- ア 中性紙保存箱への装てん
簿冊（公文書綴）の劣化を防止する目的で、中性紙製の保存箱に装てんする。
- イ 簿冊（公文書綴）の補修
劣化・破損の著しい公文書綴や寄贈を受けた貴重資料を脱酸、裏打ち、漉き嵌め（リーフキャスト）等で補修する。
- ウ 写真の電子化及び印画紙焼付け
利用度の高いものから順次電子化を行う。原板（ネガ等）は専用フォルダに収納するとともに、電子化されたデータを印画紙焼付け（L版）にして整理・目録化する。
- エ 複製本の作成
類縁機関からマイクロフィルム撮影によって収集した資料を複製本化する。

(3) 利用促進、普及・啓発

- ア 公文書館の事業概要等を掲載した『鳥取県立公文書館報』第22号を作成し、当館ホームページで公開する。
- イ 常設展
一階ロビーの「展示コーナー」において、公文書館が所蔵する資料を活用して、県政140年を紹介する「鳥取県のあゆみ」を常設展示する。また、調査研究の成果をタイムリーに紹介する小企画展を行う。
- ウ 企画展
 - 企画展：「アーカイブズの世界V」（仮称）
(会期：平成24年6月19日～8月6日 [予定])
 - 特別企画展：「掘り起こされた県政写真」（仮称）
(会期：平成25年2月～3月) [会期未定]
- エ こちら「夏休み自由研究」協力隊
夏季休業中の自由研究で「鳥取県政の歴史」を研究してみようと考えている小学生、中学生を対象に、館蔵資料を提供・指導助言を行って作品作りを行わせる。(8月)

オ 記録資料を読む会（第2回）

当館所蔵の公文書をテキストとして読みながら解説を加えていくことで、公文書の重要性を理解していただく。（7月）

カ 小・中・高等学校の「総合的な学習の時間」との連携事業（第1回）

体験学習や地域との連携を重視する「総合的な学習の時間」をより有効に活用してもらうため、小・中・高等学校に出向き、当館所蔵資料を利用して各校の歴史や当該地域出身の偉人、県政のあゆみ等の出前講座を行う。（対応は随時）

キ 公文書館探検隊

公民館、老人会、学校等の団体見学者を募集して、公文書の保存状況や常設展示の説明、館の利用方法などを説明する。（対応は随時）

ク 公文書等資料保存連絡会

公文書の保存に関する啓発と情報交換を行うため、市町村職員等を対象として連絡会を開催する。（7月）

〔県史編さん室〕

（1）新鳥取県史編さん委員会等の運営

新鳥取県史編さん委員会及び専門部会（考古、古代中世、近世、近代、現代、民俗）を開催し、編さん事業の方針について審議する。

（2）調査研究

『鳥取県史』（昭和38～57年度）以後の発見や研究の発展のあった事項、また十分に取り上げられていない事項を調査研究する。

（3）県史ブックレット・調査報告書の刊行

県史ブックレット

考古分野、古代中世分野、近代分野、民俗分野で各1冊、計4冊刊行予定。

調査報告書

『古郡家1号墳・六部山3号墳の研究―出土品整理報告書―』

（4）普及事業

事業の成果を分かり易く提供する。

ア 出前講座等の開催

イ ホームページでの情報発信

平成23年度事業概要

〔公文書担当〕

1 公文書等の所蔵・収集状況（平成24年3月31日現在）

(1) 公文書

| 区 分 | | 引継冊数 | H22年度まで | H23年度 | 合計 |
|------|-----------|---------|---------|-------|--------|
| 知事部局 | 本 庁 | 永年保存文書 | 30,687 | 0 | 30,687 |
| | | 有期限保存文書 | 10,828 | 292 | 11,120 |
| | 地方機関 | 永年保存文書 | 1,581 | 0 | 1,581 |
| | | 有期限保存文書 | 1,181 | 57 | 1,238 |
| | 小 計 | 永年保存文書 | 32,268 | 0 | 32,268 |
| | | 有期限保存文書 | 12,009 | 349 | 12,358 |
| 委員会等 | 教育委員会（本庁） | 永年保存文書 | 2,089 | 0 | 2,089 |
| | | 有期限保存文書 | 513 | 0 | 513 |
| | 人事委員会 | 永年保存文書 | 266 | 0 | 266 |
| | | 有期限保存文書 | 9 | 0 | 9 |
| | 監査委員 | 永年保存文書 | 0 | 0 | 0 |
| | | 有期限保存文書 | 53 | 59 | 112 |
| | 労働委員会 | 永年保存文書 | 431 | 0 | 431 |
| | | 有期限保存文書 | 3 | 0 | 3 |
| | 県議会 | 永年保存文書 | 605 | 0 | 605 |
| | 警察本部 | 永年保存文書 | 131 | 0 | 131 |
| | 小 計 | 永年保存文書 | 35,790 | 0 | 35,790 |
| | | 有期限保存文書 | 12,587 | 408 | 12,995 |
| 合 計 | | | 48,377 | 408 | 48,785 |

※引継方針（実績）

- ① 知事部局本庁の永年保存文書は、完結後20年を経過したものを対象としていたが、平成23年10月鳥取県公文書等の管理に関する条例の成立に伴い、永年区分の廃止が決定したため、平成23年度は引継ぎを行わなかった。
- ② 知事部局本庁の有期限文書（10年、5年保存）は、歴史資料として重要と判断したものを、「鳥取県文書の整理、保管及び保存に関する規程」に基づき選別収集している。
- ③ 知事部局地方機関については、平成7年度から全機関を対象として、知事部局本庁と同様の方針で引継ぎを実施している。
- ④ 委員会等については、教育委員会（平成8年度から）、人事委員会（平成10年度から）、労働委員会（平成10年度から）、県議会（平成10年度から）、監査委員（平成22年度から）知事部局本庁と同様の方針で引継ぎを実施している。
- ⑤ 鳥取県警察本部については、現行警察制度以前（明治～昭和22年）の永年保存文書を平成16年度に引き継いでいる。

(2) マイクロフィルム

| 区 分 | | コ マ 数 |
|---------------|---------|---------|
| 欠落公文書の 補 充 | 県内市町村関係 | 63,654 |
| | 島根県関係 | 58,181 |
| | 福島県移住関係 | 12,144 |
| | 北海道移住関係 | 18,789 |
| | 国立公文書館 | 477 |
| | 学校調査関係 | 569,615 |
| | そ の 他 | 7,640 |
| | 計 | 730,500 |
| 劣化公文書 | | 85,355 |
| 県史編纂収集資料 | | 108,493 |
| 合 計 | | 924,348 |

(3) 刊行物（行政資料に書籍を含む。） (単位：冊)

| 区 分 | 平成22年度まで | 平成23年度まで |
|------|----------|----------|
| 行政資料 | 29,422 | 30,830 |
| 統計資料 | 33,986 | 32,221 |
| 合 計 | 63,408 | 63,051 |

※ 館内規による廃棄を実施しているため、合計数が減少。

(4) 古文書等

県史編さん関係原文書 379点
寄贈資料 約10,000点

(5) 欠落公文書等の補充

当館所蔵公文書等の不足部分を補充するため、他機関等が所蔵する公文書を複製収集している。

収集したマイクロフィルムのコマ数一覧 (単位：コマ)

| 区 分 | 平成22年度まで | 平成23年度 | 計 |
|---------|----------|--------|---------|
| 県内市町村関係 | 63,654 | 0 | 63,654 |
| 島根県関係 | 58,181 | 0 | 58,181 |
| 福島県移住関係 | 12,144 | 0 | 12,144 |
| 北海道移住関係 | 18,789 | 0 | 18,789 |
| 国立公文書館 | 477 | 0 | 477 |
| 学校調査関係 | 569,615 | 0 | 569,615 |
| そ の 他 | 7,640 | 0 | 7,640 |
| 計 | 730,500 | 0 | 730,500 |

2 保存・管理

(1) 簿冊（公文書綴）のマイクロフィルム撮影

劣化の著しい簿冊の保存措置として、マイクロフィルムによる撮影を実施した。

（撮影は平成10年度で終了）

（単位：コマ）

| 区 分 | 計 |
|-----------|--------|
| 撮 影 コ マ 数 | 85,355 |

(2) 複製本の作成

利用の便を図るため、保存するマイクロフィルムを順次複製本化している。

ア 欠落公文書

（単位：コマ、冊）

| 区 分 | 平成22年度まで | 平成23年度 | 計 |
|--------|----------|--------|---------|
| コマ数 | 286,637 | 2,018 | 286,637 |
| 複製本作成数 | 1,173 | 13 | 1,186 |

イ 劣化公文書

（単位：コマ、冊）

| 区 分 | 平成21年度まで | 平成22年度 | 計 |
|--------|----------|--------|--------|
| コマ数 | 46,218 | 0 | 46,218 |
| 複製本作成数 | 226 | 0 | 226 |

※コマ数には、県史編纂収集マイクロフィルム分を含む。

(3) 中性紙保存箱への装てん

簿冊（公文書綴）の劣化を防止する目的で、中性紙製の保存箱を発注して装てんしている。23年度は135冊分を発注した。24年度に装てんを行う。

(4) 書庫の整理

簿冊管理の適正化と書庫スペースの効率的活用を図るため、簿冊排架位置の確定と書庫情報の付与を行った。

3 利用状況

(1) 閲覧等の利用状況（一般）

| 年度 | 利用者数（人） | 内 訳（人） | | 写しの交付（枚） |
|--------|---------|---------|-------|----------|
| | | 資料・展示閲覧 | 相談・案内 | |
| 平成17年度 | 11,924 | 11,086 | 838 | 14,203 |
| 平成18年度 | 9,870 | 9,200 | 670 | 10,339 |
| 平成19年度 | 12,360 | 11,691 | 669 | 5,172 |
| 平成20年度 | 13,748 | 12,682 | 1,066 | 8,923 |
| 平成21年度 | 12,500 | 11,009 | 1,491 | 8,079 |
| 平成22年度 | 9,419 | 8,141 | 1,378 | 8,079 |
| 平成23年度 | 7,403 | 6,488 | 915 | 1,850 |

| 月別 | 利用者数 | 内 訳 | | | | | |
|----------------------------|------|---------------|---------|-----|-------|-----|-----|
| | | 資料・展示 閲覧のみ | 相談・案内 | | | | |
| | | | 資料・簿冊閲覧 | | 写しの交付 | | |
| | 人 | 人 | 人 | 件 | 冊 | 枚 | |
| 平成 23 年度 月別 内訳 | 4 月 | 531 | 484 | 47 | 8 | 11 | 75 |
| | 5 月 | 583 | 505 | 78 | 11 | 106 | 202 |
| | 6 月 | 700 | 612 | 88 | 31 | 29 | 167 |
| | 7 月 | 860 | 780 | 80 | 22 | 45 | 183 |
| | 8 月 | 930 | 831 | 99 | 34 | 162 | 193 |
| | 9 月 | 561 | 493 | 68 | 25 | 154 | 82 |
| | 10 月 | 591 | 531 | 60 | 13 | 83 | 163 |
| | 11 月 | 473 | 392 | 81 | 22 | 89 | 271 |
| | 12 月 | 474 | 432 | 41 | 8 | 103 | 92 |
| | 1 月 | 363 | 306 | 57 | 14 | 69 | 89 |
| | 2 月 | 626 | 511 | 115 | 16 | 160 | 199 |
| | 3 月 | 711 | 610 | 101 | 23 | 70 | 124 |

(2) 県職員の利用

| 年 度 | 利用者数 (人) | 資料閲覧・貸出 (冊) |
|--------|----------|-------------|
| 平成21年度 | 1, 132 | 2, 339 |
| 平成22年度 | 924 | 1, 995 |
| 平成23年度 | 788 | 2, 239 |

4 普及・啓発

(1) 常設展

展示コーナーにおいて、県政140年を紹介する「鳥取県のあゆみ」を常設展示した。また、常設部分を部分的に入れ替えた小企画展を実施した。

〈小企画展〉

テーマ 「在りし日の鳥取」

会 期 平成23年4月18日(月)～6月16日(木)

入館者 1, 130人

〈小企画展〉

テーマ 「加嶋さんが残したカラーの鳥取」

会 期 平成23年8月9日(火)～11月9日(水)

入館者 1, 905人

〈小企画展〉

テーマ 「歴代の鳥取県知事」

会 期 平成23年11月10日(木)～平成24年2月16日(木)

入館者 1, 372人

(2) 企画展

〈企画展〉

テーマ 企画展「アーカイブズの世界－災害を越える－」

概要 4度目となる今回は、「災害を越える」と題し、鳥取大震災や鳥取大火の記録、鳥取県西部地震から救済された歴史資料、この度の東日本大震災の被災状況と資料の救済、の3つの観点から、歴史資料を残すことの意義について紹介した。

会期 平成23年6月18日(土)～8月7日(日)

入館者 1,455人

〈新収蔵品展〉

テーマ 「神社絵図の世界」

概要 県内個人の方から寄贈された鳥取県内の神社54社の「彩色絵図」のうち、35社を選んで紹介した。

会期 平成24年2月18日(土)～3月18日(日)

入館者 995人

(3) こちら「夏休み自由研究」協力隊(第4回)

夏季休業中の自由研究で「鳥取県政の歴史」を研究してみようと考えている小学生、中学生を対象に、館蔵資料を提供・指導助言を行って作品作りを行わせた。

期間 平成23年7月30日(土)～31日(日)

参加者 6名

(4) 『鳥取県立公文書館研究紀要』第7号の刊行

2年間の研究成果をまとめた今号は、たたら製鉄に関する講演録や近藤家文書の紹介、昨年成立した「公文書管理法」に関する討論会など計6本の原稿を収載した。

内容 (1) 条例施行で、公文書の扱いはどう変わるのか? (討論会議録)

(2) 公文書管理条例の成立と評価選別基準の見直し (西村芳将・職員)

(3) 近藤家文書「一時預かり」の事情—鳥取県西部地震の頃を回想する—

(伊藤 康・職員)

(4) 大地の恵みを活用する人間の営み—日野地方のたたら製鉄を素材として—

(葛西大和・元山形大学教授)

(5) 谷中山のたたら遺構と操業体験 (池本 榮・山上まちづくり協議会員)

(6) 明治40年代初頭における近藤家の鉄山経営 —「鉄山経営覚書」を読む—

(山内美緒・職員)

体裁 A5判 103ページ

価格 500円(消費税込)

5 市町村公文書の保存支援

市町村公文書研修会への講師派遣

市町村が実施する公文書等の適切な保存と管理に関する研修協力支援の一環として、講師を派遣した。

日時 平成23年6月3日(金)

場所 湯梨浜町役場

内容 「公文書における歴史的文書の選別について」

講師 公文書担当 副主幹 西村芳将

6 公文書等資料保存研究会の開催

独立行政法人国立公文書館との共催により、「公文書等の管理に関する法律」の施行準備やその後の取組状況、克服すべき課題等について報告（基調講演）をいただくとともに、条例の施行をどう受け止めていくかを市町村職員、県職員及び公文書館（図書館、博物館等の資料保存機関を含む）の職員を対象に開催した。

日 時 平成23年12月13日（火）

場 所 県立図書館大研修室

内 容 講 演「公文書管理法施行に伴う国の取組状況と課題」
 （独立行政法人国立公文書館総務課調整専門官 安藤 繁氏）

討論会「条例施行で、公文書の扱いはどう変わるのか？」

進行役 足田 晃（公文書館・館長）

討論者 安藤 繁（国立公文書館・調整専門官）

山脇 幸人（倉吉市・市立図書館副館長）

池上 祥子（総務課・課長補佐）

前田 信彦（政策法務課・主幹）

西村 芳将（公文書館・副主幹）

参加者 77人

7 展示会開催実績

| 年度 | 期 間 | 名 称 | テ ー マ | 開催場所 |
|----|-----------------------|-----------------|--------------------------------|------|
| 2 | 平成2年 10月1日～10月31日 | 開館記念特別展 | 公文書に見る明治 | 公文書館 |
| | 平成3年 2月18日～3月15日 | 行政資料展 | 鳥取県の国際交流 | 〃 |
| 3 | 平成3年 6月11日～7月10日 | 県史編纂収集資料展 | 最後の藩主・池田慶徳の書状 | 〃 |
| | 平成3年 10月1日～10月31日 | 開館1周年記念展 | 敗戦直後の公文書 | 〃 |
| | 平成4年 2月18日～3月19日 | 行政資料展 | 鳥取県のポート | 〃 |
| 4 | 平成4年 6月9日～7月8日 | 県史編纂収集資料展 | 「鳥府志」の挿絵展（Ⅰ） 在りし日の鳥取城と郭内 | 〃 |
| | 平成4年 10月6日～11月5日 | 行政資料展 | 鳥取県のダム | 〃 |
| | 平成5年 2月8日～3月5日 | 公文書展 | 鳥取大地震の公文書記録 | 〃 |
| 5 | 平成5年 10月13日～11月5日 | 県史編纂収集資料展 | 「鳥府志」の挿絵展（Ⅱ） 在りし日の城下町鳥取と外山下 | 〃 |
| | 平成6年 2月22日～3月18日 | 公文書展 | 島根県時代の鳥取 －鳥取県再置運動をめぐって－ | 〃 |
| 6 | 平成6年 6月6日～7月1日 | 県史編纂収集資料展 | 「鳥府志」の挿絵展（Ⅲ） 在りし日の城下町鳥取と町端 | 〃 |
| | 平成6年 8月30日～9月12日 | 行政資料展 | 暮らしに役立つ統計資料 | 〃 |
| | 平成6年 10月11日～10月28日 | 臨時展 「鳥府志」挿絵展 | 都市景観の形成 | 〃 |
| | 平成7年 3月7日～3月24日 | 公文書展 | 明治期鳥取県の町村合併 | 〃 |

| 年度 | 期 間 | 名 称 | テ ー マ | 開催場所 |
|----|---------------------------|-------------------|-------------------------------|-----------------|
| 7 | 平成7年 10月1日～10月22日 | 開館5周年記念展 | 公文書に見る1945-1954 -鳥取県の戦後改革- | 公文書館 |
| | 平成8年 3月4日～3月22日 | 公文書展 | 公文書に見る近代鳥取県の災害 | 〃 |
| 8 | 平成8年 8月12日～9月12日 | 県史編纂収集資料展 | 中津尾家に見る近世の大山領 | 〃 |
| | 平成9年 2月18日～3月19日 | 公文書展 | 鳥取士族の福島県移住 | 〃 |
| 9 | 平成9年 8月11日～9月12日 | 県史編纂収集資料展 | 門脇家資料に見る大庄屋の活動 | 〃 |
| | 平成10年 2月17日～3月20日 | 公文書展 | 鳥取県人の北海道移住 | 〃 |
| 10 | 平成10年 10月15日～10月30日 | 臨時展 公文書展 | 鳥取県人の北海道移住(Ⅱ) | 〃 |
| | 平成11年 3月6日～3月26日 | 公文書展 | 鳥取県 明治期の初等教育 | 〃 |
| 11 | 平成11年 6月19日～7月11日 | 公文書展 | 鳥取県 明治の小学校 | 倉吉博物館 |
| | 平成11年 9月12日～9月18日 | 臨時展 公文書展 | 明治の鳥取県 | 米子コンベンションセンター |
| | 平成12年 3月4日～3月19日 | 公文書展 | 鳥取県 明治の小学校 | 米子市立図書館 |
| 12 | 平成12年 8月5日～8月27日 | 開館10周年記念 特 別 展 | 20世紀の鳥取県 | 公文書館 |
| | 平成12年 12月5日～12月24日 | | | 倉吉博物館 |
| | 平成13年 2月24日～3月11日 | | | 米子市立図書館 |
| 13 | 平成13年 12月8日～12月27日 | 公文書展 | 鳥取県大正・昭和初期の小学校 | 公文書館 |
| | 平成14年 2月23日～3月10日 | | | 大栄町歴史 文化学習館 |
| | 平成14年 3月16日～3月27日 | | | 日南町総合 文化センター |
| 14 | 平成14年 10月26日～11月24日 | 公文書展 | 城下町鳥取 -歴史の散歩道- | 公文書館 |
| | 平成15年 3月8日～3月23日 | 公文書展 | 文書が語る 鳥取県の歩み | 倉吉博物館 |
| | 平成15年 2月15日～3月5日 | | | 山陰歴史館 |
| 15 | 平成16年 1月10日～1月29日 | 公文書展 | 近代鳥取県の産業振興 -米・生糸・牛・鉄- | 倉吉博物館 |
| | 平成16年 2月3日～3月2日 | | | 公文書館 |
| | 平成16年 3月6日～3月18日 | | | 米子市立図書館 |
| 16 | 平成16年 平成17年 12月4日～1月9日 | 公文書展 | 鳥取県の国民学校 | 公文書館 |

| 年度 | 期 間 | 名 称 | テ ー マ | 開催場所 |
|----|---------------------------------------|--------------------------|------------------------------|--------------|
| 16 | 平成 17 年 1 月 14 日～ 2 月 14 日 | 公 文 書 展 | 鳥取県の国民学校 | 山陰歴史館 |
| 17 | 平成 17 年 10 月 8 日～11 月 6 日 | 公 文 書 展 | 鳥取県のたたら | 公文書館 |
| | 平成 17 年 11 月 12 日～12 月 18 日 | | | 日南町美術館 |
| 18 | 平成 18 年 8 月 30 日～ 9 月 26 日 | 公 文 書 展 | 鳥取県の生活綴方教育 ー峰地光重と後進たちー | 倉吉博物館 |
| | 平成 18 年 10 月 7 日～11 月 12 日 | | | 公文書館 |
| 19 | 平成 19 年 5 月 15 日～ 7 月 1 日 | 企 画 展 | 公文書館所蔵資料による 「昭和の鳥取県」 | 〃 |
| | 平成 19 年 10 月 13 日～11 月 11 日 | 公 文 書 展 | 鳥取県の漁業 ー公文書館所蔵漁場図を中心にー | 〃 |
| | 平成 19 年 11 月 17 日～12 月 16 日 | | | 海とくらしの史料館 |
| 20 | 平成 20 年 6 月 12 日～ 7 月 31 日 | 企 画 展 | アーカイブズの世界 ー公文書館の仕事と資料の修復ー | 公文書館 |
| | 平成 20 年 10 月 17 日～11 月 23 日 | 特 別 展 | 澤田廉三と美喜の時代 | 〃 |
| | 平成 20 年 11 月 29 日～12 月 21 日 | | | 岩美町 中央公民館 |
| 21 | 平成 21 年 6 月 3 日～ 7 月 31 日 | 企 画 展 | アーカイブズの世界 ー残すということー | 公文書館 |
| | 平成 21 年 10 月 17 日～11 月 22 日 | 企 画 展 | レンズがとらえたあの頃の鳥取県 | 〃 |
| | 平成 21 年 11 月 28 日～12 月 20 日 | | | 倉吉博物館 |
| 22 | 平成 22 年 6 月 19 日～ 8 月 1 日 | 企 画 展 | アーカイブズの世界 ー紙とデジタルの共存ー | 公文書館 |
| | 平成 22 年 11 月 6 日～12 月 19 日 | 開 館 2 0 周 年 記 念 特 別 展 | 広報写真に見る鳥取県 ー戦後からわかとり国体までー | 〃 |
| | 平成 23 年 1 月 14 日～4 月 17 日 | 小 企 画 展 | 絵葉書にみる鳥取県 | 〃 |
| 23 | 平成 23 年 4 月 18 日～6 月 16 日 | 小 企 画 展 | 在りし日の鳥取 | 〃 |
| | 平成 23 年 6 月 18 日～8 月 7 日 | 企 画 展 | アーカイブズの世界ー災害を越える | 〃 |
| | 平成 23 年 8 月 9 日～11 月 9 日 | 小 企 画 展 | 加嶋さんが残したカラーの鳥取 | 〃 |
| | 平成 23 年 平成 24 年 11 月 10 日～2 月 16 日 | 小 企 画 展 | 歴 代 の 鳥 取 県 知 事 | 〃 |
| | 平成 24 年 2 月 18 日～3 月 18 日 | 新 収 蔵 品 展 | 神 社 絵 図 の 世 界 | 〃 |

〔県史編さん室〕

1 新鳥取県史編さん委員会等の運営

「新鳥取県史編さん事業」の編さん方針等を審議するため、編さん委員及び各専門部会委員を委嘱し、会議を開催した。

(1) 委員名簿

平成23年度 新鳥取県史編さん委員

| | 氏名 | 現職 |
|---|------------------------------|-----------|
| 1 | 高田 健一 | 鳥取大学准教授 |
| 2 | 錦織 勤 | 鳥取大学教授 |
| 3 | 池内 敏 | 名古屋大学教授 |
| 4 | 岸本 覚 | 鳥取大学准教授 |
| 5 | 小山 富見男 | 鳥取敬愛高校教頭 |
| 6 | 坂田 友宏 | 伯耆文化研究会会長 |
| 7 | 門前 浩司 (～12月) 河原 正彦 (2～3月) | 県総務部長 |
| 8 | 福本 慎一 | 県教育委員会次長 |

平成23年度 新鳥取県史編さん専門部会

| | 氏名 | 現職 |
|---------------|---------|-----------------------------------|
| (考古部会) | | |
| 1 | 高田 健一 | 鳥取大学地域学部准教授 |
| 2 | 根鈴 智津子 | 倉吉市教育委員会文化財課文化財係長 |
| 3 | 下高 瑞哉 | 米子市教育委員会文化課係長 |
| 4 | 松井 潔 | 財団法人鳥取県教育文化財団発掘調査室長 |
| 5 | 中原 斉 | 県教育委員会文化財課歴史遺産室長 |
| (中世部会) | | |
| 1 | 錦織 勤 | 鳥取大学地域学部教授 |
| 2 | 日置 糸左エ門 | 元鳥取県史編さん室常勤専門委員 |
| 3 | 秋山 伸隆 | 県立広島大学人間文化学部教授 |
| 4 | 倉恒 康一 | 観光政策課主事 (兵庫県・山陰海岸ジオパーク推進協議会事務局派遣) |
| 5 | 石田 敏紀 | 県立博物館主幹学芸員 |
| (近世部会) | | |
| 1 | 池内 敏 | 名古屋大学文学部教授 |
| 2 | 谷口 啓子 | 元県立公文書館非常勤専門員 |
| 3 | 山藤 良治 | 米子工業高等専門学校教授 |
| 4 | 山脇 幸人 | 倉吉市立図書館副館長 |
| 5 | 渡邊 仁美 | 県立図書館郷土資料課主任学芸員 |
| 6 | 来見田 博基 | 県立博物館主任学芸員 |
| (近代部会) | | |
| 1 | 岸本 覚 | 鳥取大学地域学部准教授 |
| 2 | 田村 達也 | 元県立公文書館専門員 |

| | 氏名 | 現職 |
|---------------|--------|-------------------|
| 3 | 奥村 寧子 | 鳥取市歴史博物館学芸員 |
| (現代部会) | | |
| 1 | 小山 富見男 | 鳥取敬愛高等学校教頭 |
| 2 | 喜多村 理子 | 鳥取短期大学非常勤講師 |
| 3 | 佐々木 孝文 | 鳥取市教育委員会事務局文化財課係長 |
| 4 | 石田 敏紀 | 県立博物館主幹学芸員 |
| 5 | 西村 芳将 | 県立公文書館副主幹 |
| (民俗部会) | | |
| 1 | 坂田 友宏 | 伯耆文化研究会会長 |
| 2 | 靄 理恵子 | 吉備国際大学社会学部准教授 |
| 3 | 喜多村 正 | 元島根大学法文学部教授 |
| 4 | 喜多村 理子 | 鳥取短期大学非常勤講師 |
| 5 | 福代 宏 | 県立博物館主任学芸員 |
| 6 | 原島 知子 | 県教育委員会文化財課文化財主事 |

(2) 会議

- 平成23年 6月13日 第1回民俗部会（於：公文書館）
6月30日 第1回考古部会（於：公文書館）
7月 5日 第1回現代部会（於：公文書館）
7月 8日 第1回編さん委員会（於：公文書館）
7月21日 近世部会資料編掲載資料検討会（於：公文書館）
7月22日 第1回近世部会（於：公文書館）
8月29日 民俗部会民俗編目次構成検討委員会（於：日野町）
9月 2日 第1回古代中世部会（於：公文書館）
10月 6日 第2回考古部会（於：公文書館）
10月 7日 第2回近世部会（於：公文書館）
10月17日 第1回近代部会・第2回現代部会合同部会（於：公文書館）
11月17日 第2回編さん委員会（於：公文書館）
平成24年 2月17日 民俗部会民具編目次構成検討会（於：公文書館）
3月 8日 第2回古代中世部会（於：公文書館）
3月14日 第2回民俗部会（於：公文書館）
民俗部会中間報告会（於：公文書館）

2 各専門部会の活動

1 考古部会

(1) 遺物再整理

- ・8遺跡494点の遺物を実測。

(2) 古墳測量

- ・馬ノ山4号墳（湯梨浜町橋津、全長88mの前方後円墳）・北山古墳（同町野花、全長110mの前方後円墳）・向山6号墳（倉吉市巖城、全長40mの前方後円墳）の墳丘の3次元測量を業者委託で実施。

(3) 古郡家1号墳・六部山3号墳調査報告書の作成

- ・原稿執筆及び出土遺物の写真撮影を行った。

2 古代中世部会

(1) 県外史料調査

- ・県外に所在する鳥取関係中世史料の原本調査を実施。史料1点ごとに撮影、調査カード作成。
- ・東日本および関西を中心に30カ所を調査（北海道・秋田・山形・宮城・新潟・茨城・東京・京都・兵庫・岡山・島根・山口各都道府県内の所蔵機関・寺社・個人宅）。

(2) 鳥取県関係古代中世史料翻刻文校訂事業

- ・資料編に掲載する活字原稿を文書写真・影写本と照合して校訂。
- ・調査委員3名で実施。3年計画の2年目。計800点を対象に実施。

(3) 鳥取県関係古代中世史料調査抽出事業

- ・都道府県史等の既刊史料集から鳥取県に關係する古代中世史料を抽出。
- ・調査委員8名で実施。3年計画の3年目。予定総冊数840冊の抽出を完了。

3 近世部会

(1) 史料調査

- ・資料編「東伯耆」収録候補資料の検討会（1回）
- ・資料編「西伯耆」のための調査（県立博物館、2回）

(2) 資料編「東伯耆」掲載資料の校訂、解題執筆、刊行

- ・収録資料13件、約1000頁分

(3) 県史ブックレット10『鳥取藩の参勤交代』の刊行

(4) 「家老日記（控帳）」の解読

- ・県史編さん協力員と共に実施。今年度22冊（3月末現在）を解読。
（全250冊の内、総計181冊解読完了、53冊解読中）

4 近代部会

(1) 資料編「鳥取県史料2・3」の校訂、解題作成、刊行

- ・明治14～18年分（計22巻）を収録

(2) 資料調査

- ・智頭町誌編さん室所蔵資料調査（旧那岐村・山形村役場文書等、近代・現代合同）
※現地調査・撮影は平成22年度中に終了。件名目録を作成中。
- ・湯梨浜町宇野地区公民館所蔵資料調査（旧宇野村役場文書、近代・現代合同）計4回
- ・琴浦町逢束自治公民館所蔵資料調査（近代・現代合同）
- ・国立公文書館所蔵「鳥取県史料」原本調査

5 現代部会

(1) 資料調査

- ・智頭町誌編さん室所蔵資料調査（旧那岐村・山形村役場文書等、近代・現代合同）
- ・湯梨浜町宇野地区公民館所蔵資料調査（旧宇野村役場文書、近代・現代合同）計4回
- ・琴浦町逢束自治公民館所蔵資料調査（近代・現代合同）
- ・国立公文書館所蔵「鳥取県史料」原本調査（近代・現代合同）
- ・知事経験者の聞き取りにかかる資料調査

(2) 報告書「日露戦争時、鳥取県域に漂着したロシア兵」執筆にかかる調査、刊行

- ・県内の関係者からの聞き取り調査
- ・国立国会図書館、外交資料館等関係機関の資料調査

6 民俗部会

(1) 民俗調査

- ・地域民俗調査（県西部山間部）、テーマ別民俗調査（7テーマ）を実施した。（延べ111日間）

(2) 民具調査

- ・日南町立郷土資料館の所蔵民具調査を実施した。

3 刊行物

(1) 県史ブックレット（A5判、各500円）

刊行

- ・第10巻『鳥取藩の参勤交代』（H24.1.10刊行、118頁、1,500部印刷）

頒布

- ・今井書店（県内7カ所）、東京アンテナショップ、琴浦町日韓友好資料館・韓国物産館（第5巻のみ）、国立ハンセン病資料館（第2巻のみ）に加えて鳥取県立博物館、鳥取市歴史博物館での頒布開始

(2) 資料編（A5判、各5000円）

- ・『新鳥取県史 資料編 近世1 東伯耆』（H24.3.31刊行、936頁、600部印刷）
- ・『新鳥取県史 資料編 近代2 鳥取県史料2』（H24.3.31刊行、835頁、600部印刷）
- ・『新鳥取県史 資料編 近代3 鳥取県史料3』（H24.3.31刊行、1169頁、600部印刷）

(3) その他

- ・調査報告書『日露戦争時、鳥取県に漂着したロシア兵』（H23.9.9刊行、58頁、440部印刷、県内の学校、県内外の関係機関・図書館等に無償頒布、概要版を当館ホームページに掲載）

4 普及事業

(1) 県史ブックレット 巡回講座

| 期 日 | 会 場 | 講座名（担当者）・テーマ | 参加数 |
|---------|----------|--|-----|
| 5/14(土) | 国府町中央公民館 | ブックレット8「古代因幡の豪族と采女」 (石田敏紀 鳥取県立博物館主幹学芸員) | 56 |
| 3/18(日) | 鳥取県立博物館 | ブックレット10「鳥取藩の参勤交代」 (来見田博基 鳥取県立博物館主任学芸員) | 92 |

(2) 出前講座・依頼講演

| 期 日 | 会 場 | 講座名（担当者）・テーマ | 参加数 |
|-------------------------------|-------------|---|-----|
| 4/9(土) | 名古屋市女性会館 | 東海県人会「鳥取藩における荒尾家」(坂本) | 60 |
| 5/11(水) 6/8(水) 10/28(金) | 日南町総合文化センター | 日南町の郷土資料をみんなで考える ワークショップ 「天保田畑地続全図を読む」(坂本) 「新鳥取県史編さん事業と民具調査 ～日南町での取り組みについて～」(樫村) 「日南町関係の古文書を読む －鳥取藩家老日記－」(坂本) | 各30 |

| | | | |
|--------------------|-----------------|---|-----|
| 6/4(土) | 夢みなとタワー | NPO法人未来守りネットワーク 第7回アマモ・コアモ勉強会（榎村） テーマ：「里海としての中海と藻葉を利用した伝統的な暮らし」 | 20 |
| 6/8(水) | 鳥取環境大学 | 「鳥取学」講師（岡村） テーマ：「戦国時代の鳥取」 | 150 |
| 8/12(金) | むきばんだ史跡公園 | ラムサール条約リレーシンポ「古代・ちよつと昔・今の中海を感じよう」（榎村） テーマ：「ちよつと昔の中海のエコ生活」 | 30 |
| 9/9(金) | 倉吉市小鴨地区公民館 | おがもふるさと講座（岡村） テーマ：「小鴨氏の時代—基保・之基・元清」 | 30 |
| 10/8(土) | 龍谷大学梅田キャンパス（大阪） | 鳥取県・龍谷大学連携講座（岡村） テーマ：「名和長年と後醍醐天皇」 | 30 |
| 10/29(土) | 吉野ヶ里歴史公園（佐賀） | 吉野ヶ里歴史公園特別企画展記念フォーラム（湯村） テーマ：「よみがえる邪馬台国—吉野ヶ里と出雲王国」 | 約80 |
| 11/26(土) | 学習院生涯学習センター（東京） | 学習院生涯学習講座（湯村） テーマ：「海を舞台とした山陰の弥生時代交流」 | 40 |
| 12/15(木) ・16(金) | 鳥取県関西本部交流室（大阪） | 「鳥取学」出前講座（岡村） テーマ：「織田vs毛利—鳥取をめぐる攻防—」 | 70 |
| 12/21(水) | 鳥取市高齢者福祉センター | 郷土の歴史を楽しむ会（岡村） テーマ：「名和長年について」 | 30 |

（3）県史だよりの発行

- ・記事内容 歴史・民俗に関する小記事など
- ・発行形態 ホームページ版と紙版（A4判4ページ、県内図書館などへ配布）
- ・発行頻度 月1回

（4）ホームページの更新

- ・記事内容 ①巡回講座、ブックレット刊行の案内など（随時更新）
②史料調査のレポートなど（最近の活動から）（随時更新）
③県史だより（月1回更新）
- ・更新頻度 平成23年度 月平均4.4回

5 県史編さん協力員

(1) 古文書解読

- ・近世は「家老日記」、近代は「鳥取県史料」を解読し、パソコン入力したデータを提出。
- ・3地区ごとに毎月月例会を開催
 - 東部 第1土曜日午前 県立博物館 協力員37名
 - 中部 第1日曜日午前 倉吉歴史民俗資料館 協力員8名
 - 西部 第1日曜日午後 米子市旧庁舎 協力員14名

(2) 民具調査

- ・日南町立郷土資料館の収蔵民具の写真撮影及び名称・法量等のパソコン入力を行う。
- ・計11日調査を実施した（協力員1名）。

利用案内

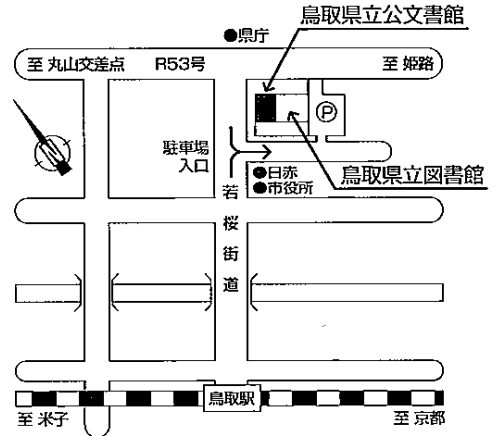
開館時間

●月～金曜日 9:00～17:00

休館日

- 日曜日、土曜日
- 国民の祝日及び振替休日
- 年末年始（12月29日～1月3日）
- 展示コーナーについては、年末年始及び月末に当たる場合を除き、日曜日、土曜日にも入館できます。

案内図



- 徒 歩 鳥取駅から若桜街道を県庁方向へ
徒歩20分
- バ ス 鳥取バスターミナルより
湖山・鳥大線、賀露線など
「県庁日赤前」下車徒歩1分

鳥取県立公文書館報

第22号—平成24年度—

平成24年5月発行

編集・発行 鳥取県立公文書館

〒680-0017 鳥取市尚徳町101番地

電 話 (0857)26-8160

ファクシミリ (0857)22-3977

電子メール kobunsho@pref.tottori.jp

http://www.pref.tottori.lg.jp/kobunsho